

他機関提供

## 京都大学附属病院を受診された患者様並びに京都大学の研究に試料を提供いただいた皆様へ

本学では他の研究機関で行われる臨床研究のため、本学に保管されている試料、情報を提供しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、試料や診療情報等を研究目的に提供されることを希望されない場合は、下記の申し出先・問合せ先にご連絡ください。提供を拒否されても不利益を被ることはありません。

1 研究課題名	血栓性血小板減少性紫斑病(TTP)に生じる心筋虚血と好中球細胞外トラップ(NETs)の評価
2 研究責任者の氏名と所属 研究機関の名称	氏名: 松本 雅則 所属研究機関: 奈良県立医科大学輸血部
3 研究期間	研究実施許可日 ~ 2028年3月31日
4 共同研究機関等の名称 と各施設の責任者の氏名	別紙: 研究協力機関一覧 参照
5 承認した倫理審査委員会 と研究機関の長の許可	奈良県立医科大学医の倫理審査委員会で承認され、奈良県立医科大学学長の許可を得ています。
6 研究の目的と意義	血栓性血小板減少性紫斑病は全身に血栓をもたらす疾患であるが、当輸血部の過去の研究の結果心筋虚血が致命的帰結の主因である可能性が示された。また近年好中球細胞外トラップという機序が発見された。これは好中球が細菌などを貪食によって殺菌するのではなく核酸を投網のように投射してとらえる全く新しい免疫学的機序である。しかしこの機序の免疫反応は慢性化することで血栓形成の素地になることが判明している。今回当研究室に提出された検体を用いて心筋虚血と好中球細胞外トラップの関連性を研究する。また初診時の臨床所見について担当医にアンケートを送付し症状との関連を評価する。
7 対象となる試料・情報の 取得期間等	2005年4月1日から2023年9月30日に京都大学医学部附属病院担当医から奈良県立医科大学輸血部に検査依頼があり、TTPと診断された方。
8 試料・情報の提供予定日	試料は提供済み 主たる情報は、2024年1月30日ごろ、神経学的所見は、2024年5月30日ごろ提供予定
9 研究の方法と提供する試 料や情報の項目	①患者イニシャル、生年月日、性別、発症日、既往歴。 ②抗血栓療法の有無、胸部所見の有無、心電図所見、心臓超音波所見、トロポニン測定値。 ③心筋ストレスマーカー、転帰。 ④神経学的所見。 提出された血液検体を用いて測定した以下の項目。

他機関提供

	①トロポニン T、トロポニン I、シトルリン化ヒストン H3、DNA/histone complex。
10 試料・情報の他研究機関への提供およびその提供方法について	臨床所見やイニシャルなどの個人情報を研究用 ID に置きかえて使用するため、あなたの個人情報が外部へ漏れることはありません。研究 ID との対応表は厳重に研究責任者において管理されます。研究の成果は、学会や学術誌などで公表されますが、この場合も、個人が特定される情報が公開されることはありません。
11 外国への提供の有無 (当該外国名、個人情報保護制度、受領者が講ずる個人情報保護に関する措置)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (有の場合は、さらに情報も記載)
12 提供機関の長の氏名	京都大学医学部附属病院 高折 晃史
13 試料・情報の管理・提供責任者の氏名	京都大学医学部附属病院検査部 助教 新井 康之
14 試料・情報の提供の辞退に関するお申し出先・お問合せ先	郵送先: 〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町 54 京都大学医学部附属病院 検査部 新井康之 電話: 075-751-3111(代表) Email: cract@kuhp.kyoto-u.ac.jp
15 備考・その他 (参照 URL 等)	<a href="https://trans.narmed-u.ac.jp/documents.html">https://trans.narmed-u.ac.jp/documents.html</a>